

## 第1回 魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会

日時：2017年7月5日（水）午前10時～

場所：魚津市役所第一委員会室

### 委員から頂いた意見の概要

番号	意見概要
1	<p>この計画は、魚津市全体にとって大変重要な位置付けになるので、この周辺あるいはこの場所で何をするかという事だけに留まらず、魚津全体にとって何が必要か、現在の課題は何かということも踏まえて議論したい。</p>
2	<p>地下通路は、子供や女性にとっては暗くて嫌な感じがして通りにくいので、橋上駅舎を通過して西と東の両広場を繋ぐ地上通路が良い。</p>
3	<p>あいの風鉄道さんと地鉄さんが線路を共有し、橋上駅化、駅舎の総合ビル化、東西を横断的に繋ぐ広い自由通路等を盛り込ませた構想が良い。</p> <p>橋上駅舎に、あいの風さんと地鉄さんの改札口が隣同士にあり、市民の方や観光客も自由に利用できる通路幅10m以上の自由通路が良い。</p> <p>魚津には高校が四つと大学もあり、電車の乗り継ぎ待ちにも利用できる市立図書館の別館を計画してはどうか。</p> <p>高齢者の方々にも電車で魚津に来て頂き、買い物等で半日程過ごしてもらえるような街づくりを。</p> <p>イベント広場等があれば、子供達が集まり、大人も刺激されて集まるので、賑わいが生まれる。</p> <p>電車や市民バスの利用促進を視野に入れた駅前広場の計画や、バスルートや一般駐車場の工夫もしながら東西を自由に移動できるようになれば、対外的なPRになる。</p> <p>改札口を出たら魚津のことがたくさんPRされている等、もう一回来てみたいと思える仕組み作りを望む。</p> <p>観光都市化のためにも、駅からカーバイドさんの敷地を通り、埋没林や、ありそドーム、海の駅まで気軽に行ける動線整備を望む。</p> <p>カーバイドさんの広い敷地を、蜃気楼が見えて夕日がきれいな臨海公園として整備し、全国からの観光集客を目指してはどうか。</p>

4	<p>図書館分所も良いアイデアだし、電車の待ち時間に学生が勉強できる自由広場（机と椅子があるだけでも可）でも良い。</p> <p>魚津市は山も海も綺麗なので、駅を建て替えるなら 360 度見渡せる展望カフェが欲しい。海から山まで 25km の範囲に 3000m 級の山々がある日本でも数少ない自然、発達した食文化、米騒動や明治天皇の行在所など様々な文化施設等、自然歴史財産を広く発信して魚津に来たくなる人を増やしたい。</p> <p>山城ブームで城跡を訪れる観光客が多いが、松倉城への交通手段が無いので、松倉城跡に限らず市民バス等での移動手段確保を望む。</p> <p>観光パンフレットで全国にグルメ情報を発信しているが、肝心の飲食店が日曜日に定休で、カニやホテルイカについては提供している店自体が少ないので、改善を望む。</p> <p>レンタサイクルは需要があるので、台数や設置場所等の利便性向上を望む。</p>
5	<p>駅施設について、勉強スペースや図書館機能、自然景観が豊かで展望の良い喫茶スペース等、多くのアイデアがあり、食文化に対する熱い期待もある。</p> <p>駅を橋上にした時に周りの景色がどう見えるのか、学生さん達がどういう行動をして何を望んでいるのか等を調査してみても良い。</p>
6	<p>新魚津駅の 1 日利用者数 1,400 人の内 1,100 人は定期利用者で、一般利用者は少ない。</p> <p>将来的な持続に繋がる公共交通の利便性向上は必要だが、駅や広場を直しただけでは人は集まらない。</p> <p>まず駅周辺の食べ物屋等に魅力があつて人が集まり、それをアシストする公共交通がある、という事を踏まえて計画を考えて欲しい。</p> <p>少子高齢化と人口減少が進む現実を踏まえ、どの様な手段で人を集め、交通施設を維持していくか、現状をしっかりと分析しながら計画を進めて欲しい。</p>
7	<p>魚津駅と新魚津駅が隣接し、富山県全体の交通ネットワークから見ても重要な位置付けであるが、現状は両駅の乗換が不便なので、少しでも便利にして駅の結節機能向上を目指す必要がある。</p> <p>何もしなければ利用者が減り賑わいも失われていく可能性もある中で、頑張つて工夫をすれば、踏み留まり回復し発展に繋がる可能性もあるので議論をしていく必要がある。</p> <p>まだ学生さん達は多いが、今後は高齢者が増加していくので、社会の構造変化に応じた、高齢者に集まって頂ける対応などが必要ではないか。</p>
8	<p>市庁舎の改築等も含めた計画を目指すのか、駅舎・自由通路・周辺道路に絞った計画なのかによって、議論の仕方も変わってくる。</p> <p>駅舎の複合ビル化、高校生が集える場所やカフェ、自由通路も良いが、予算の問題もあるし、何かを建てて、既存の商業施設や飲食店街に悪影響を及ぼしてもいけないので、総合的複合的に何十年か先の姿形を決めた上で道路や駅舎等を考えるべきではないか。</p>
9	<p>駅舎と駅前広場だけではなく、市庁舎の話など全体的な公共施設の配置や商業環境なども含めた周辺まちづくりを議論する事は、まちづくり全体を考えていく上で重要な視点ではないか。</p>

1 0	<p>複合施設は、人口減少が止まらないのに人が来るのか、飲食店が入っても経営が成り立つのか等疑問なので、現時点では考えなくても良いのではないかな。</p> <p>新幹線開業来、2年間で駅前を歩く人は減り、特急で来ていたサラリーマンがいなくなり、昼間の飲食店が少なくなった。残る飲食店も家族経営の方が多く、日曜日は休みなので、観光客の方が日曜日に来ても食事が出来ない。</p> <p>自由通路については、観光客に「SNSで発信したい」等と思ってもらえるだけでも交流人口の増加に繋がるので、隈研吾さんのような著名な方に手掛けてもらえば良い。</p> <p>魚津の豊富な木材資源や自然素材を生かし、駅舎に魚津の木を使い、癒しのスポットとして評判になれば良い。</p>
1 1	<p>人の動きがどの様になり、賑わいが創出される仕組み、スペースの活用方法など、周辺活動も踏まえた施設配置について議論したい。</p>
1 2	<p>魚津の町づくりのネックは、上村木カーブド線のガード下の件にもあるように、駅の西側と東側が鉄道で分断されている事なので、子どもから障害者、お年寄りまで、自由に鉄道の東西を行き来出来れば、賑やかな交流が生まれてくる。</p>
1 3	<p>新幹線駅と離れている高岡駅では、地下街を復活させたいがテナントの出入りも激しく店舗数も減っているように、商業施設や複合施設だけで観光客を呼び込むのは難しい。</p> <p>利用者が少ない中で、複合施設を作っても市民の人が使うのか、魚津のショッピングセンターでも空きテナントが目立つ中で、駅施設にテナントが入るのか疑問です。</p> <p>観光客は地元ならではの老舗に魅力を感じ、お土産屋さんにしても飲食店にしても同じで、「昔からの地元の味はないですか」と良く聞かれるので、参考にして欲しい。</p> <p>富山への観光客は、富山市や高岡市だけを見に来るのではなく、北陸を目的地に来るので、魚津市だけで考えず、広域的な観光客の動線を考えた対応をしていくべき。</p> <p>レンタサイクルなどで気軽に駅等から海の駅まで行ける仕組みと、道路整備が必要。</p> <p>飲食店に無理やり日曜日に営業してもらおうのが難しいようであれば、宿泊してもらおう事が一番良いので、魚津で宿泊して夜の飲食店街を楽しんで貰う仕組みを作れば良い。</p>
1 4	<p>観光客は1地点だけ観光するのではなく回遊しているので、隣は敵ではなくて味方として一緒に手を携えていくべき。</p> <p>魚津に来てくれた人に、「黒部、滑川、入善、朝日もいい所ですよ。あちらの方も行って見たらどうでしょうか」と言えば、向こうもやはり、「いや、魚津もいい町だから魚津に行ってみたらどうでしょうか」と言ってくれるように地域が連携していく事が大切。</p> <p>宿泊地として選ばれる重要な要素の一つは、交通の結節点で、魚津は宿泊してもらえる可能性が高く、朝早いイベントや夜遅いイベントがあると、滞在せざるを得なくなるので、宿泊して貰える。幸い魚津はホテルが多いので、活性化の期待値は高い。</p>
1 5	<p>駅周辺の古いホテルや市役所の建て替えを併せたような複合施設を考えても良いのではないかな。</p>
1 6	<p>各地域の駅の事例では図書館や市民ホールが併設され、様々な事例があるので、調査しながら発想を広げて議論したい。</p>

17	<p>駅や駅周辺そのものに人が集まって賑わいづくりになる視点で考える必要がある。</p> <p>今回の計画にあたり、需要予測等、基礎データなどを十分調査し、これらを踏まえ、また、図書館を併せた複合施設を計画している石動駅の周辺整備事業や他県事例などの先例を学びながら、計画を取り纏めて頂ければ良い。</p>
18	<p>どんなに工夫しても需要を生み出せる余地がなければ、過大な施設や無駄な施設を造る必要は無い。</p> <p>魅力的な商売をして、少しでも多くの人に利用してもらおうという視点から、良いアイデアを培っていきたい。</p>
19	<p>駅から港へ行く動線について、上村木カーバイド線を改修するのか他の方法を取るのか等、ガード下改修の優先度等が見えれば改良の仕方も決まる。</p> <p>魚津駅が周辺の駅と比べて何が足りないか、例えば黒部宇奈月温泉駅にはパーク・アンド・ライド用として約500台分の駐車場があり、魚津は商工会議所の近くに200台分あるが、駅から少し遠い。</p> <p>それを除くと40台程しか無いので、市民も魚津駅でのパーク・アンド・ライドはしにくいのではないかと。</p> <p>黒部宇奈月温泉駅の周辺は、既存商業地への影響を考慮して商業機能は少なく、交通機能重視の発想で計画した。</p> <p>魚津は、高岡の例もあるが大阪と新大阪のように、既存都市から離れた所に新幹線駅がある状況で、新幹線利用者を地鉄等の公共交通を使って引き込むためにも、駅の利便性向上は必要だと思う。</p> <p>補助金や国の制度といった事については、新たな計画を立て取り組んでいけるといった仕組みの都市計画制度等もあり、協議の内容に併せて紹介していきたい。</p>
20	<p>アンケート調査により電鉄魚津駅は綺麗に改修されたが、魚津駅については今でも地下道や両駅の橋上化などを求める声があるのか疑問。</p> <p>魚津にはホテル旅館など客室が約1000室あるが、観光やビジネス客の意見も反映して周辺まちづくりを考えるべき。</p> <p>駅舎ありきではなく、駅周辺に行く理由作り、自然に人が集まる仕掛け作りを含めた周辺まちづくりを考えていくべき。</p>
21	<p>地域公共交通の活性化について、富山県では利用者の減少対策、営業赤字の解消方法など、持続可能な地域公共交通と乗り継ぎ利便の向上を図るための委員会を設け、課題解決に向けた取り組みを実施している。</p> <p>利用者調査を踏まえて乗り継ぎの利便性向上など、公共交通を使ってもらおう検討をしているが、まずは公共交通を使う目的やきっかけが重要。</p> <p>将来的に公共交通を使わなければいけない時期が来るので、その時の為にも、今ある交通を維持する努力を各事業者にお願いしている。</p> <p>現状は魚津駅から富山方面に行く人の方が多いが、逆に富山の方から魚津に来て駅を利用してもらい、まちの活性化に繋がる取り組み等について議論できたら良い。</p>

2 2	<p>公共交通を中心にまちづくりを進めながら公共交通の活性化も図る事が重要で、まちが元気であれば公共交通利用者が増え、利用者が増えれば公共交通も便利になり、更にまちが発展していく関係が望ましい。</p> <p>世界的には公共交通の利用が増加しており、ヨーロッパでは鉄道駅に改札口がないのが普通で、30年後、50年後を見据えた駅の在り方、I Cシステムや情報技術の進展、駅員数を減らしながらもスマートに旅行客を收拾できる仕組み、自動で乗り継ぎ割引もされてお得に乗れる等、今と同じ仕組みがこれからも続く事を前提とする必要はなく、新しいシステムも念頭に置きながらの議論をするべき。</p> <p>駅周辺の活力は、公共交通にとって重要な要素。</p> <p>公共交通を利用して貰うには駅周辺に人口がある事も重要で、魚津駅周辺に住めば公共交通を利用した市内移動も便利で、富山市等へも簡単に通えるので、駅周辺の住居機能を高める必要がある。</p> <p>富山市では、郊外から街中へ居住誘導する事業として、高齢者を対象に自動車が無くても暮らせる居住環境提供を行っており、魚津駅周辺についても、居住人数や現状の課題などを調査してはどうか。</p>
2 3	<p>新発田市の駅前複合施設は、図書館や公民館のような交流スペース、育児支援機能を集約した施設等あり、必ずしも商業施設ではなく、学生等、公共交通利用者に長く滞在して貰える工夫がされている。</p> <p>隈研吾さんの設計によるアオーレ長岡は、無料オープンスペースを多用し、市民や学生が用事ついでに寄り道できる場所として、利用者数だけでなく長時間留まって貰う事で賑わいを創出している成功事例です。</p> <p>魚津駅周辺の駐車場不足も、複合施設の駐車場を活用して補う事も出来る。</p> <p>駅周辺の労働者人口が増えれば、平日の昼間に営業していない飲食店舗も、営業を再開し、賑わいを取り戻せるのではないか。</p> <p>人が集まるだけでも観光地として成り立つので、魅力向上の指標にして計画を進めることも一つのやり方ではないか。</p> <p>中心地への居住誘導は、地方都市全ての問題であり、空き家の問題も顕在化しているので、まちなか居住、空き家対策についても検討して欲しい。</p>
2 4	<p>魚津市には、埋没林、海の駅、水族館、ミラージュランドがあり、来年は米騒動 100 周年等、観光資源が多くあり、海岸道路を観光地化するといった声もあるので、駅と海岸を繋ぐ道路計画等も観光地化を推進する上で重要。</p> <p>市役所の建て替えは、検討調査チームを立ち上げ議論中です。</p> <p>観光客だけでは無く、市民も含めた賑わい作りが重要。</p> <p>駅周辺については、子育て拠点、子供やお年寄りが集える場所、多くの人達が集える施設等を設けながら、地域の活性化を目指すべきではないか。</p>
2 5	<p>発想を豊かに、色々な視点から多くの議論をし、様々なアイデアを出し合っていくことが重要で、過大なものは当然控え、適正な規模の計画づくりを進めたい。</p>
事務局	<p>次回開催は秋頃を予定します。</p>